未来に輝く先輩たち

都立日比谷高等学校
▼
ケンブリッジ大学

是安 真花さん

[2019年度卒業]

私は高校2年生の夏から単身でイギリスに留学をし、現在英国のケンブリッジ大学にて自然科学を勉強しています。帰国子女ではない私が留学しようと思えたのは、武蔵野東中学校で経験した一貫した英語を「使う」授業のおかげだと思います。英語のニュース(CNN等)を聞いて内容を推測するという授業を今でも覚えていて、ニュース特有の独特な言い回しに最初は全く聞き取れませんでしたが、少しずつ自分の中で成長を感じられるのがとても楽しかったです。

また、東中で自分を発信、表現する力が身についたと思います。スピーチコンテストや特別進学学習の時間、また部活動等さまざまな場面において自分の意見をわかりやすく、そして的確に伝える必要性がありました。特進の時間に(偶然にもケンブリッジ大学の入試で使用された)「自分の腎臓を売ってもよいか?」という決まった答えがない問いに対して討論を進めたことが印象に残っています。集団討論の練習の一環でしたが、その時に友人がとても分かりやすく論理的に自分の意見を組み立てているのを聞いて、とても刺激を受けました。現在大学ではエッセイの課題が多く出ますが、中学で学んだロジカルなアプローチは今もとても役に立っています。

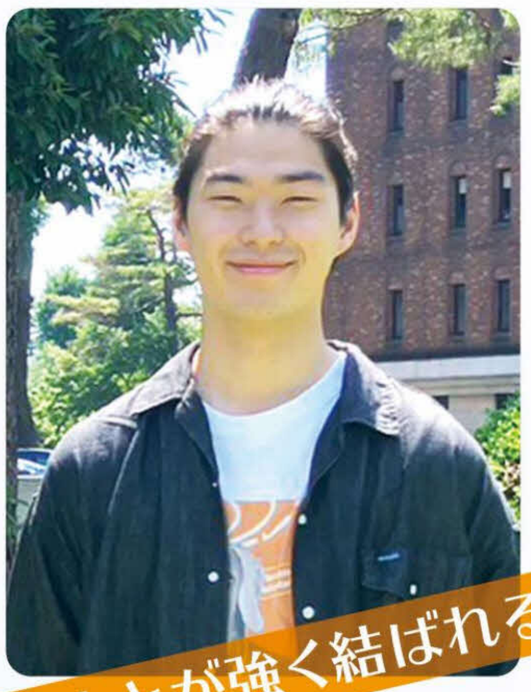
そして、何よりも在学中に私を成長させてくれたのは、ダンス部の存在だったと思います。努力を惜しまない姿勢、粘り強く取り組む力、自分と仲間を信じる力、全てが今の私を後押ししてくれています。留学中、特に大学では授業や周りのレベルがとても高くついていくのに必死ですが、ダンス部で頑張れたことが自信となって現在も踏ん張ることができています。

このような私の経験が今後どのような形で社会貢献できるか分かりませんが、これからも、たくさんの背景を持った人と関わり、経験を積み、自分の手を喜んで人のために貸すことのできる人間になりたいと強く思っています。

表紙の日本語原文です。

一橋大学経済学部

菅野 康太さん［ 2018年度卒業 ］



人と人とが強く結ばれる社会を築きたい

東中を卒業したのち、私は都立西高校、そして一橋大学経済学部に進学しました。一橋大学では大学の全学祭である一橋祭の運営委員会に所属し、11月の本番に向けて日々準備を進めています。無駄を省き、人とのつながりが薄れつつある今日この頃ですが、一橋祭では当日だけでなく準備の段階においても、地域の方々や他の学生と濃密なつながりを感じられます。また、3日間という一瞬の祭りに対して全力で学生生活を捧げることはまさに青春そのものです。祭りが生産性のあるものかと問われれば確かに無駄な行為かもしれませんが、それは決して無意味でも無価値でもない、人と人とのつながりを感じられるものなのです。

このように私が祭りという言わば無駄なものに意味を見出し、全力で楽しむことができるようになったのは東中での生活があってこそだと感じます。東中は他の学校よりも行事が多く、どの行事にも生徒が主体的に取り組んでいます。自主的に動き、勉強も行事もどれも全力で行う校風と生徒を応援する先生方のおかげで、今の私は存在するのだと思います。

また、100人の運営委員が延べ3万人もの来場者を受け入れる祭りを企画する際に計画性は欠かせません。自分自身を振り返ると、毎日プランノートを書いていたおかげで身についた計画・実行・振り返りの習慣が活きています。

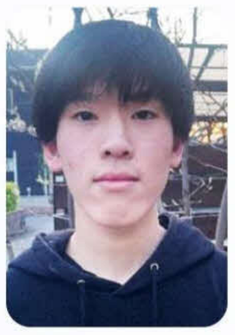
まだ将来の具体的なビジョンは立てられていませんが、人同士の関係性を守り、強めることのできるようなことを職業にしたいと考えています。時代の流れにかかわらず、人と人が強く結ばれる社会を築いていきたいです。

［ 2023年度卒業 ］

都立日比谷高等学校

藍原 朋子さん

武蔵野東中学校は独自のさまざまな活動を通して深い学びを得られる学校です。混合教育の環境の中で、異なる個性をもった友だちと清掃や行事の練習をする中で、お互いの個性をリスペクトし合い、日々新たな気づきを得ていました。また普段の授業ではただ聞くだけではなく、自ら疑問を抱いて思考し周りと意見を交わしながら教科書以上のことを深堀りして学ぶ場面が多くありました。特に探究科では、外部に取材をしたり自分で調査をしたりして情報を集め、自分が興味のある分野をとことん追求しレポートにまとめるのがとても楽しい活動でした。東中の先生方はとても熱心で生徒に尽くしてくださいます。受験の際も最後まで手厚くフォローしてくださる先生がとても心強い存在でした。勉強も行事も部活も全力で取り組むことができ、非常に充実していて幸せな3年間でした。



都立国立高等学校

長谷川 翔央さん

私が中学で大きく成長できたのは仲間やライバルがいたからこそだと思います。それを一番実感したのは3年から始まった特別進学学習での学習です。それまで自分だけで学習していたのに対し、特進での学習を通して、他の生徒と一緒に視野を広げて、問題に向き合うようになりました。今までは問題が解けたというだけで満足していましたが、特進が始まって以降は自分とは異なる方法にも目を向けるようになりました。また学習面以外で協調性という部分も育まれたと思います。特進では、ある問いに対して仲間と話し合う機会も多くありました。対話を通して、答えに至るまでの過程を考えることの大切さも学ぶことが出来ました。武蔵野東中学校ではここで取り上げた特進以外にも多くの貴重な経験をすることができました。私はここで得たたくさんの自信を糧にしてこれからの人生を進みたいと思います。

慶應義塾女子高等学校

市川 小夏さん

1年生の終わりに海外から帰国し、転校してきました。日本の学校経験の無い私が充実した学校生活を送ることができたのは東中の先生方や仲間が私を温かく迎え入れてくれたからです。スポーツ推進委員長、スピーチコンテスト、探究科のプレゼンテーションを通して自分を表現することができ、そのような東中ならではの経験が受験でも私に自信を与えてくれました。部活動やさまざまな学校行事を通じ、いかに他者から学び成長していけるか、混合教育の根幹を体験できたことにもとても感謝しています。特進では各々が出した答えについて皆で深く掘り下げ議論し、受験のための勉強のみならず、視野の広い学びを追求することができました。支えてくれた東中の先生方、仲間たち、ともに過ごした日々は一生の宝です。

都立立川高等学校

原嶋 春斗さん

私は武蔵野東学園に幼稚園から12年間通い、東中学校でも毎日さまざまな個性を持った友だちと生活を共にしてきました。混合教育の環境の中で学んできたことで、さまざまな面で成長できたと感じています。他の学校ではできないことを経験でき、とても充実した時間を過ごすことができました。武蔵野東中学校での勉強はプランノートを活用した自主学習がメインでした。プランノートがあることで計画性が身に付き、効率的な学習を行うことができました。受験勉強でも計画性はとても重要だったのでプランノートがとても役に立ったと思います。また、3年生での特別進学学習では、少人数での学習で仲間と共に競い合い、お互いを高め合い、そして楽しみながら勉強をすることができました。特進には本当に感謝しています。3年間この素晴らしい環境で過ごせて本当によかったです。